

日本の各地におけるハクセキレイと セグロセキレイの繁殖期の生息状況

樋口広芳¹・中村一恵²

はじめに

近年、日本の中でハクセキレイ *Motacilla alba* の繁殖分布の動きが活発化してきており、北から *M. a. lugens*, 南から *M. a. leucopsis* がそれぞれ南進、北進しているような様相を見せている(中村 1978, 1980)。そうした中で、近縁のセグロセキレイ *M. grandis* とそれらハクセキレイとの間、あるいはハクセキレイの異亜種間の相互関係も注目されている(たとえば樋口・平野 1981, Higuchi and Hirano 1983)。

こうしたことから、日本野鳥の会研究部では、ハクセキレイとセグロセキレイの繁殖状況をより広く正確につかむために、『野鳥』誌(No.440, 1983)を通じて全国の会員に情報の提供を呼びかけた。その結果、約50名の会員から130か所にのぼる地域の状況が寄せられた。この報文は、その結果の概要とそこから得られたいくつかの知見を報告するものである。

情報を提供して下さった方や調査に参加して下さった方のお名前は、表1の中に示してある。ご協力いただいたことに深く感謝したい。また、本報文をまとめるにあたり、野鳥の会研究部の塚本洋三、花輪伸一、森下英美子の諸氏には大変お世話になった。あつくお礼申しあげたい。

方 法

『野鳥』誌上の呼びかけは、5月号(4月下旬発行)に掲載された。記録に必要な事項としては、以下の項目をあげた。1. 観察者名。2. 連絡先: 住所、氏名。3. 観察年月日。4. 観察場所: ~県~市~町。5. 観察種および亜種(学名)。6. 個体数: 成鳥と幼鳥の別。7. 種や亜種の識別の根拠: 過眼線の有無、鳴き声、のどや背面の色など。8. 繁殖の可能性: A—繁殖している, B—可能性がある, C—不明(その理由)。9. 繁殖している場合、その状況: 周辺の環境、営巣場所、卵、ヒナの数など。10. スケッチまたは写真(静止姿勢と飛翔形)。11. その他。

調査期間は特に限定しなかった。ただし、記録送付の締め切りは7月31日とした。提供された情報の中には、冬季や前年の記録が含まれている場合もあった。だが、今回は、それらは参考資料として保存し、今年の3月以降の記録だけをまとめる対象とした。8月1日以降に送られてきた分については、8月末日までの記録を対象の中に含めた。不明な点があった場合には、情報提供者に直接あたって内容を確認した。

1983年11月7日受理。

1. 東京大学農学部森林動物学教室。〒113 東京都文京区弥生1-1-1。
2. 神奈川県立博物館 〒231 神奈川県横浜市中区南仲通5-60

結果および考察

送られてきた情報の概要を、一覧表にして表1に示した。

約110か所の情報の提供地点は、北海道から九州までに広く散らばっている。だが、かたよりはかなり顕著で、特に宮城、福島、群馬、茨城、福岡などのいくつかの特定地域に集中している傾向がある。これは、そうした地域にすむ何人かの人から、数多くの情報がまとめて送られてきたためである。

この点を考慮したうえで、この情報内容から導き出せるいくつかの知見を以下に述べる。

情報地点の地理的位置を調べてみると、かなりのばらつきはあるが、それでもなお、ハクセキレイは沿岸部に、セグロセキレイは内陸部にまで生息している傾向が見てとれる。この傾向は、5年前の1978年に実施された繁殖地図調査の結果（日本野鳥の会 1980）と変わらない。後者の結果では、北海道はその例外となっているのが明らかであるが、今回の結果では、北海道の情報地点が少ないので、その点は明らかでない。ハクセキレイの内陸部への進出は、本州以南では現在でも、新潟、栃木、埼玉などの限られた地域でしか見られていない。

それとかなり関連したことであるが、少なくとも狭い範囲の同一地点、たとえば同じ河川と同じ河原などでは、ハクセキレイとセグロセキレイの両種が繁殖期にともに生息している例は少ない。両種がともに生息していることが明らかな地点は、宮城県涌谷、同松島、福島県いわき、新潟県輪島、茨城県勝田、神奈川県鎌倉、福岡県北九州などにある。これらの少数地点が、ほかのところとは何か違った環境特性をもっているのかどうかは、今回の結果からは明らかでない。今後の調査課題の1つであろう。

これまで *M. alba lugens* の繁殖分布の西端は、名古屋周辺と考えられていた（浅沼・山口 1981）。だが、今回、北九州では数年前から、大阪（泉北郡）と広島（広島市）では今年から繁殖していることが明らかになった。また、大阪からは、今回初めて、*M. a. leucopsis* の繁殖記録も報告された。

北九州市の紫川と大阪府泉北郡の大津川では、*M. a. lugens* と *M. a. leucopsis* が同一地点でともに繁殖している。福岡市内にも、その可能性のあるところがある。北九州の紫川では、その二者に加えてセグロセキレイも繁殖している。これら複数の種および亜種間の相互関係がどうなっているのかは、今回の結果からは明らかでない。北九州市では岡山速俊氏によって詳しい調査が行われているので、その結果に期待したい。

いくつかの地域で、ハクセキレイのどの亜種に属するのかがはっきりしない個体が観察されている。茨城県勝田市で武田勝彦氏が観察した2個体や、北九州市の紫川で岡山速俊氏が観察した2、3個体などが、その例である。特に北九州市の場合には、それらの中には、アジア東北部で繁殖する *M. a. ocularis* や、アジア中北部で繁殖する *M. a. baicalensis* などの特徴をもつ個体も含まれている。しかも、*M. a. ocularis* タイプの個体は、*M. a. leucopsis* とつがいになって繁殖したと言う。ocularis タイプや baicalensis タイプのハクセキレイがどういう素性の鳥なのかは今のところ明らかではないが、今後の動向がおおいに注目される。ともかく、ハクセキレイやセグロセキレイには羽色の変異個体が多いので（樋口・平野 1983 参照）、そうした「変わりもの」を観察した場合には、

一見どれかの亜種に似たように見えても、細部にまでわたる観察を行なう必要があるだろう。

営巣場所は、ハクセキレイ、セグロセキレイともに多様であるが、どちらも建造物に営巣している例が多い。茨城県勝田市など、2種がともに繁殖している場所では、両者の間に営巣場所をめぐる争いがあるらしい。静岡県清水市の柴田匡敏氏は、巣箱を架設して、そこでセグロセキレイを繁殖させるのに成功している。

行動上、注目される観察としては、セグロセキレイの雌雄が育てる巣だちまもないヒナにハクセキレイの雌が給餌した、という記録がある。これは、茨城県勝田市の両種混在地域で武田勝彦氏が観察したもので、ハクセキレイはその1羽しか見あたらなかった。1時間弱の間だけの観察なので、その前後の詳細いことはわかっていない。

今回の情報収集の結果は、明らかに十分と言えるものではない。だが、それなりに貴重な記録や注目すべき点もあった。今後のハクセキレイやセグロセキレイの動向を知るうえで、この種の調査は重要な意味をもってくるに違いない。これを機会に、ここで述べた問題点を合めて、セキレイ類の詳細い観察が行われるようになることを望みたい。

要 約

日本の中でのハクセキレイの繁殖分布と、その種とセグロセキレイとの相互関係などを知るために、日本野鳥の会の会員を対象に、繁殖期における両種の生息状況に関する情報を集めた。得られた主な結果は、次のとおりである。

1. 本州以南では、ハクセキレイの内陸部での繁殖は、いくつかの限られた地域でしか行われていない。
2. 同一地点でハクセキレイとセグロセキレイがともに繁殖している例は少ない。
3. *Motacilla alba lugens* は、大阪、広島、北九州でも繁殖することが明らかになった。
4. 北九州の紫川と大阪府の大津川では、*M. a. lugens* と *M. a. leucopsis* がともに繁殖している。
5. いくつかの地域で、ハクセキレイのどの亜種に属するのかが不明な個体が観察された。
6. 2種の間には、営巣場所をめぐる争いが生じることがあるらしい。一方、セグロセキレイの幼鳥に、独身と思われるハクセキレイの雌が給餌するのが観察された。

引用文献

- 浅沼秀夫・山口昭雄 1981 ハクセキレイ(繁殖). 野鳥, 46(11): 16.
- 樋口広芳・平野敏明 1981 栃木県におけるハクセキレイ *Motacilla alba* の繁殖記録と繁殖環境. 鳥, 29: 121—128.
- 樋口広芳・平野敏明 1983 セグロセキレイ *Motacilla grandis* の羽色変異個体. Strix, 2: 76—84.
- Higuchi, H. and T. Hirano 1983 Comparative ecology of White and Japanese Wagtails, *Motacilla alba* and *M. grandis*, in winter. 鳥, 32: 1—11.
- 中村一恵 1978 本州におけるハクセキレイ *Motacilla alba lugens* の繁殖分布拡張に関する資料とその予報的考察. 神奈川県博物館協会会報, (38): 1—10.
- 中村一恵 1980 ハクセキレイの本州侵入について. 野鳥, 45: 360—364.
- 日本野鳥の会 1980 鳥類繁殖地図調査1978. 日本野鳥の会.

表1 日本各地におけるハクセキレイとセグロセキレイの繁殖期の生息状況。

観 察 場 所	月 日	観察種と個体数 ¹⁾		繁殖の ²⁾ 可能性	営 巢 環 境	備 考 ³⁾	観 察 者
		ハクセ キレイ	セグロセ キレイ				
北海道							
十勝郡浦幌町吉野	3. 8~8. 25	A 2, J 4		A			徳永 晃
中川郡豊頃町豊頃	4. 25~8. 25	A 3, J 8		A			"
中川郡豊頃町二宮	4. X~8. 25	A 2, J 5		A	農家の軒	5 卵	"
根室市春園位	6. 27	E 5		A	砂丘のハマナス群落内		樋口行雄
宮 城							
仙台市広瀬川	5. 29		A 2, J 1	A	中州の多い中流域		静谷啓樹
"	"	A 2		B			"
柴田郡村田町	5. 15	A 2, J 2		A	農家の母屋		森俊彦・山家正
遼田郡涌谷町	5. X~7. 20	+	+	A		セグロ、ハクほぼ同数が繁殖	森 俊彦
栗原郡栗駒町	5. 8	A 1		C			"
" 築館町	"			C			"
宮城郡松島町吉田川	5. 15	A 2, J 2		A	家屋		"
"	5. 29		A 1	C			"
古川市	7. 17		A 5	C			森俊彦・ 菊池藤五郎
福 島							
いわき市内10数か所	3. 6~8. 31	+	+	A	セグロ、ハクほぼ同数が繁殖		戸 深 章
新 潟							
東蒲原郡津川町	5. 12		A 2	A	駅構内の作業棟、屋根瓦のすき間	餌を運ぶ	波部 通
東蒲原郡三川村	6. 21		A 2, A 3	A		親に餌をねだる	"
北魚沼郡小出町	5. 28		A 2, J 4	A		成鳥 2羽が雛に給餌	柳瀬昭彦
北魚沼郡湯之谷村	6. 1	A 1, J 2		A	養豚舎に営巣したと思われる	数年前から夏季に見られるようになったが、 セグロよりは少ない	"
石 川							
金沢市神寺町	4. 20~5. 6		A 2, F 4	A	建設機械整備工場の長期ストック 車の中	3 羽巣立つ	塩嶋保二
輪島市海岸部	7. 5~7. 6		A 7, J 2	A			清水伸彦
"	7. 5~7. 6	A 5, J 5			二階建土蔵の屋根		"
福 井							
福井市福新町	6. 10		A 2, F 4	A	プロパン用倉庫の屋根		組頭位十夫
大飯郡大飯町	3. 26		A 4	B		交尾を確認	吉沢 忍
群 馬							
北群馬郡小野上村	5. 3		A 1	C			清水伸彦
吾妻郡嬭恋村	5. 4		A 2	A		餌を運ぶ	"

観 察 場 所	月 日	観察種と個体数 ¹⁾		繁殖の ²⁾ 可能性	営 巢 環 境	備 考 ³⁾	観 察 者
		ハクセ キレイ	セグロセ キレイ				
群 馬							
前橋市大手町	5. 9, 5. 12		A 2, J 2	A			清水伸彦
安中市安中	5. 15		A 2	A	鉄骨倉庫の軒	♂は <i>lugens</i> 型。顔は白く、過眼線あり、 喉は腮まで黒 餌を運ぶ	"
安中市中宿	5. 15		A 1 ♂	A			"
高崎市大八木町	5. 21		A 1, J 1	A			"
群馬郡箕郷町	6. 26		A 1, J 1	A			"
栃 木							
那須郡那須町	4. 20~4. 27		A 2, E 5	A	サクラ古木の空洞の中	4. 27巣を放棄, 2卵のみ残る	鈴木貢四郎
宇都宮市川田町	5. 27	+		B			峰岸 明
宇都宮市御幸町	5. 28	+		B			"
宇都宮市台新田	7. 30	+		A		幼鳥, 電線の上で給餌を受ける	"
茨 城							
久慈郡大子町	4. 17		A 2	C			武田勝彦
東茨城郡大洗町	5. 4		A 1	A		餌を運ぶ	"
那珂湊市平磯町	5. 5		A 1	A		"	"
勝田市勝倉	5. 5	A 2, J 1		A	鉄筋コンクリート建ホテル4階屋 上に営巣したらし	昨年までハクセキレイが営巣し, 今年はセ グロに取られた	"
東茨城郡大洗町	5. 27, 5. 30		A 2	A	コンクリート建家屋屋上に営巣し たらしい	餌を運ぶ	"
多賀郡十王町	5. 29		A 1	A	スレート造り車庫内側の鉄骨梁上	ハクセキレイが占めるような営巣場所と思 えた	"
日立市幸	5. 29	A 2		A	鉄筋コンクリート建アパート3階 屋上に営巣したらしい	♂, ♀共餌を運ぶ	"
那珂郡東海村	5. 29	A 2, J 2		A		♀が芝生で雛に給餌。1968~70年頃ふつう に繁殖していた。	"
東茨城郡大洗町	6. 1	A 1 ♂ 1 ♀		A	鉄骨スレート造り屋根下に営巣し たらしい	巣のあるらしい所にくり返し出入り。例年 繁殖期に観察される	"
水戸市浜田	6. 4	A 1, J 1		A			"
勝田市三反田	6. 5	A ♀ 1		A		餌を運ぶ	"
勝田市東石川	6. 6	A 2		A		"	"
勝田市東石川	6. 6	J ? 1		—		頭, 背は成鳥♀よりもかなり淡い灰色。過 眼線不明瞭。幼鳥にしては胸の黒斑がはっ きりしている。亜種不明	"

観 察 場 所	月 日	観察種と個体数 ¹⁾		繁殖の ²⁾ 可能性	営 巢 環 境	備 考 ³⁾	観 察 者
		ハクセ キレイ	セグロセ キレイ				
茨 城							
勝田市石川町	6. 7	A 1		A		成鳥♀に比べて頭、背、尾上面が白色味の強い灰色。過眼線あり。亜種不明	武田勝彦
勝田市石川町	6. 7	J 1		A			"
勝田市馬渡	6. 9		A 1	C			"
水戸市城東	6. 12	A♂1♀1		A		巣のあるらしい所に餌をくわえて出入り	"
勝田市高場	6. 15	A♀1	A 2, J 1	A	倉庫の換気孔	ハクセキレイ♀成鳥が巣立後のセグロ幼鳥に給餌、セグロ成鳥も一度給餌した。	"
勝田市大島	6. 15	A 1, J 1		A		巣立ちまもないと思われる雛に給餌	"
勝田市勝倉	6. 15	A 1♂1♀, J 1		A		セグロ幼鳥もハクセキレイ成鳥を追いかけ、餌ねだりしていた。	"
勝田市市毛	6. 26	A♀1, J 1		A			"
勝田市東石川	7. 17	A 1		B		巣のあるらしい所に入入り	"
勝田市勝倉	7. 17	A 1♂1♀		A	外灯の傘の中に営巣したらしい。	♂, ♀共, 巣に入入り, ここより約30m離れたホテルの屋上で5月頃セグロセキレイが繁殖した	"
勝田市枝川	7. 24		J 1	B			"
埼玉県							
比企郡嵐山町	4. 13		A 2, F 4	A	水田の耕された土塊の下	地上営巣	内田 博
"	5. 30	A 1		A		餌を運ぶ	"
比企郡滑川村	5. 29	1		C		昨年までハクセキレイは夏季に観察されなかった	"
東松山市下磨子	6. 2	1		C			"
"	6. 2		A 6, J 16	A		4群、幼鳥が河原に群れる	"
蓮田市駅前	4. 21	A 1		B			佐藤 博
岩槻市古ヶ場	5. 3	A 1		B			"
戸田市田辺製薬工場内	5. X~7. X	A 2		A		若鳥を見る	藤波不二雄
浦和市大崎事業場	6. 25	A 2		A		求愛給餌を観察。若鳥を見る。数年前より繁殖している	"
川口市行衛地区	7. 9	A 1, J 1		A			"
川口市環境衛生センター	7. 31	A 2, J 1		A		幼鳥に給餌	"
千葉県							
京葉港埋立地	5. 30	J 1		A		巣立ちまもない雛が親と行動を共にする	石川 勉
市原市宵柳	5. 27	A 6, J 1		A			吉沢 忍

観 察 場 所	月 日	観察種と個体数 ¹⁾		繁殖の ²⁾ 可能性	営 巢 環 境	備 考 ³⁾	観 察 者
		ハクセ キレイ	セグロセ キレイ				
千 葉 市原市宵柳	6. 4	J 1		B			吉沢 忍
東 京 八王子市上恩方町	5. 3		A 2, J 5	A	材木工場の軒下		小沢好雄
岡田区東駒形	5. 15	A 1 ♀		C			塚本洋三
岡田区吾妻橋	5. 22	A 1 ♂		C			"
岡田区横綱	6. 4	A 1 ♂		C			"
大田区池上呑川流域	5. 9~6. 20	A 15		B			川名次雄
荒川区荒川	5. 27	A 1		C			佐藤 博
三宅島伊豆	3. 20	1		C		<i>M. a. leucopsis</i>	石田 健
神奈川 横浜市南区大岡	5. 8	A 4		C			秋元文雄
鎌倉市柏尾川	5. 27~29		A 2, J 1	A		餌をくわえて変電所の中に入る	森越正晴
"	"	A 1 ♂ 1 ♀		C			"
静 岡 静岡市片山	6. 4~6. 15	A 1 ♂ 1 ♀, J 3		A			伊藤敏彦
清水市広瀬	3. 7~6. 10		A, J 数羽	A		巣箱に営巢	柴田匡敏
愛 知 尾西市木曾川堤防	3. 22~3. 23	A 1		C		<i>M. a. leucopsis</i>	本若博次
知多郡英浜町	5. 4, 5. 13	A 2		C			大橋重光
大 阪 摂津市安威川	6. 18		A 5, J 2	B			又野淳子
泉北郡忠岡町	5. 28~6. 25	A 2, J 3		A	川の河口部		西山裕夫
"	"	A 2, J 1		A	"	<i>M. a. leucopsis</i>	納家 仁
京 都 京都市左京区高野川	3. X~7. X		A, J, 多数	A	大部分は人家の屋根, 自然物を利用しない	ハクセキレイは冬季のみ観察	大迫義人
鳥 根 大社町北荒木	4. 23, 6. 23	A 1				<i>M. a. leucopsis</i>	井戸原強
津和野町津和野川	5. 5, 5. 6		A 7 +		神社の軒下		塚原恵子
八東郡鹿島町	6. 8		J 1	B			吉沢 忍
広 島							

観 察 場 所	月 日	観察種と個体数 ¹⁾		繁殖の ²⁾ 可能性	営 巢 環 境	備 考 ³⁾	観 察 者
		ハクセ キレイ	セグロセ キレイ				
広島市西区井口	6.19~7.13	A 2 J 2, F 4		A	家具工場の製材のすき間	親鳥の1羽はホオジロハクと思われるほど 過眼線が薄い	日比野政彦
双三郡三和町 山 口	7. 9		A 2, J 1	B			"
徳山市官前町	5.23~6. 5		A 2, F 3	A	工場内倉庫の梁	5 卵	小林繁樹
本郷町ルート187川ぞい	5. 4		A 1	C			塚原恵子
美川町ルート187	"		A 1	C			"
柿木村ルート187	"		A 1	C			"
愛 媛							
川内町ルート11	5. 6		A 1	C			"
松山市堀ノ内	5. 6		A 1	C			"
松山市石手	6.16		A 2, J 6	A		幼鳥、親と行動を共にする	額田寿之
松山市泉町	6.26		A 2, J 2	A		幼鳥に給餌	"
松山市薄辺町	6.25		J 3	B			中村 学
松山市宿野町	6.25		J 4	B			"
松山市枝松町	6.16		A 2, J 2	A		幼鳥、親と行動を共にする	秋山 勉
松山市重信川	7. 3		A 2, J 4	A			大星俊久
香 川							
普通寺市川住	3.25	A 1		C			塚原恵子
" ルート319	3.27		A 1	B			"
" 受茶羅寺付近	4. 6		A 3	B			"
" 農業試験場	4.13, 4.28		A 2	B			"
" 磨白山のふもと	4.23		A 4	B			"
丸亀市万象園	3.21		A 1	C			"
福 岡							
筑紫野市那河川町	6.19, 6.26	J 2		B			宮永誠・上原加 瑞子・広瀬由美
福岡市西区室見川上流	6. 5		J 2	B			宮永 誠
福岡市東区箱崎小頭	5.13	A 1		C			"
"	"	A 1		C		<i>M. a. leucopsis</i>	"
福岡市西区室見川上流	6. 5		A 2	A		餌を運ぶ	"
福岡市西区板屋	6. 5	A 1		B		<i>M. a. leucopsis</i>	"
筑紫野市那河川町	6.12	A 1♀, J 3		A		親に餌をねだる	宮永誠・百武富枝
筑紫野市那河川町	7.17	A 4, J 3		A		<i>M. a. leucopsis</i> , ハクセキレイ <i>M. a.</i>	宮永 誠

観 察 場 所	月 日	観察種と個体数 ¹⁾		繁殖の ²⁾ 可能性	営 巢 環 境	備 考 ³⁾	観 察 者
		ハクセ キレイ	セグロセ キレイ				
北九州市小倉南区紫川	4.28~6.16	+	+	A		<i>lugens</i> の営巣地から約1km離れた所 ハクセキレイは <i>M. a. lugens</i> , <i>M. a.</i> <i>leucopsis</i> のほかに2, 3で不明のものが 生息	岡山速俊

注1 A:成鳥, J:幼鳥, F:雌, E:卵をそれぞれ示し, そのあとの数字は個体数。+は確実な生息を示す。

注2 A:繁殖している, B:繁殖の可能性がある, C:不詳,

注3 亜種の記載のない記録は, すべて *M. a. lugens* を示す

Breeding Records of White and Japanese Wagtails,
Motacilla alba and *M. grandis*, in Japan.

Hiro Yoshi Higuchi¹ and Kazue Nakamura²

Breeding records of White and Japanese Wagtails were gathered to investigate the range expansion of the former species and the interaction of the two species. Results were as follows:

1. The breeding of White Wagtails in inland areas was restricted to only a few areas in Honshu and the southward.
2. There are few rivers and towns where the two species breed side by side.
3. Northern *M. a. lugens* began to breed in Osaka, Hiroshima, and Kitakyushu.
4. *M. a. lugens* and *M. a. leucopsis* breed side by side in the Murasaki River of Kitakyushu and in the Otsu River of Osaka.
5. Some White Wagtails whose subspecific identification was uncertain were found in Honshu and Kyushu.
6. There seems to be competition between the two species for nest sites. A female White Wagtail was observed to feed the fledglings of Japanese Wagtails in Katsuta, Ibaragi.

1. Laboratory of Forest Zoology, Faculty of Agriculture, The University Tokyo, Bunkyo-ku, Tokyo 113
2. Janagawa Prefectural Museum, Minami-nakadori 5-60, Naka-ku, Yokohama, Kanagawa 231